

区・自治会に関する
アンケート調査
報告書

富里市区長会
富里市総務部市民活動推進課

令和3年11月

アンケートの概要

1. アンケートの目的

市内の各区・自治会の活動状況や課題などを把握し、情報共有や今後の活動の参考にしていただくことを目的として富里市区長会と富里市が共同で実施しました。

御協力いただきました行政パートナーの皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

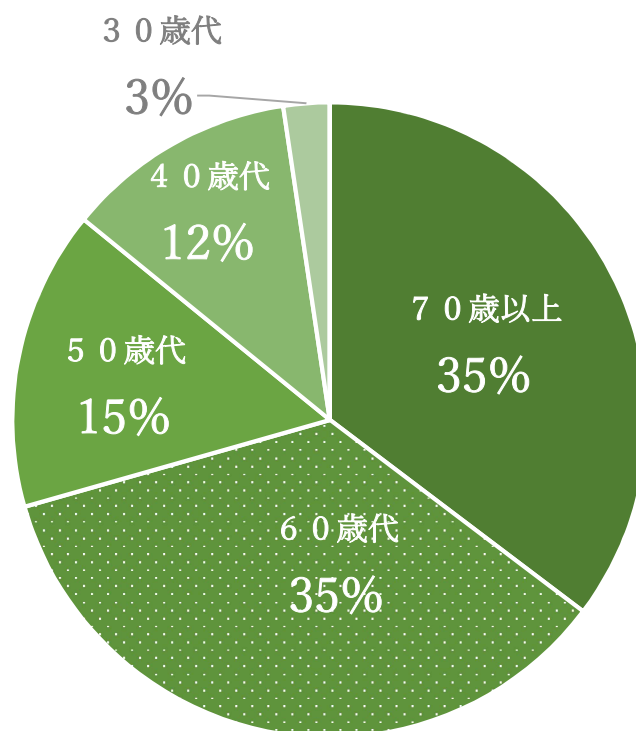
2. 調査について

- 調査方法・・・行政パートナー宅へ調査票及び返信用封筒を送付し、郵送により回収
- 実施時期・・・令和3年9月22日～令和3年10月6日
- 実施対象・・・市内全ての行政パートナー（区・自治会長）（113団体）

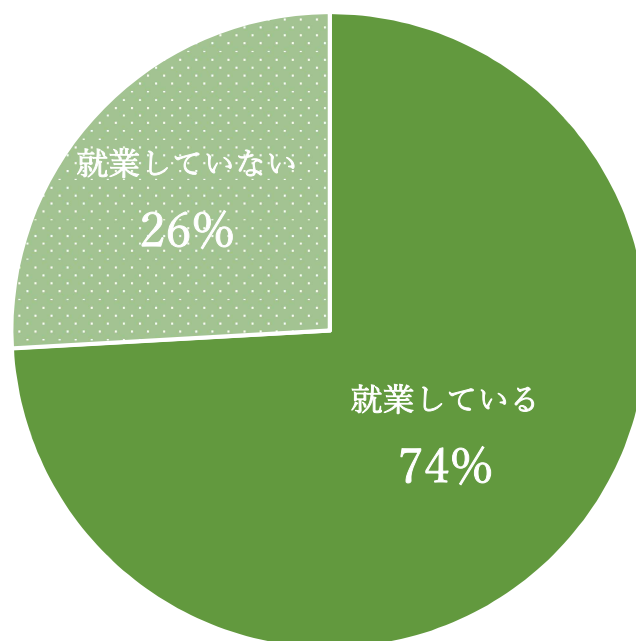
3. 回収結果

- 送付数・・・113
- 回収数・・・85
- 回収率・・・75.2%

問 1. 年齢について教えてください。

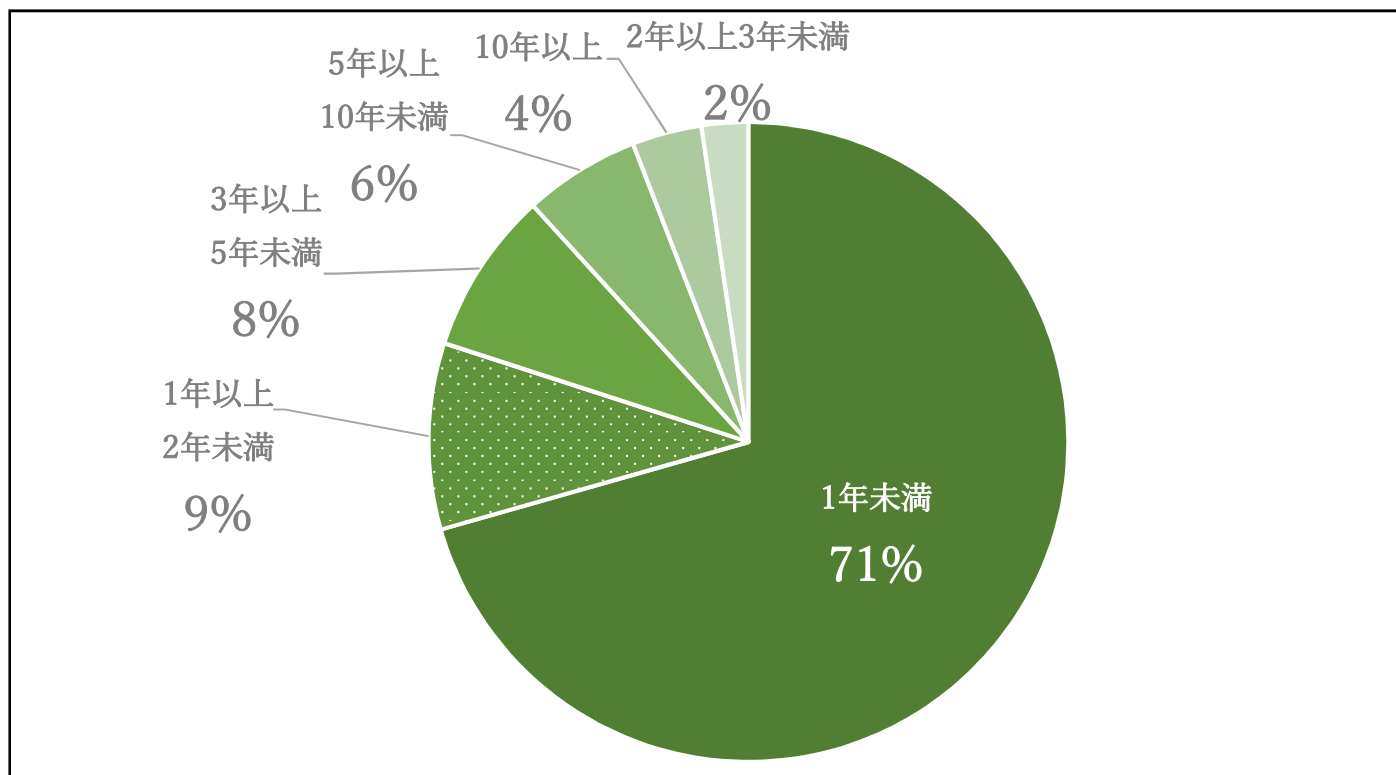


問 2. 区・自治会長以外でお仕事を（就業）されていますか。

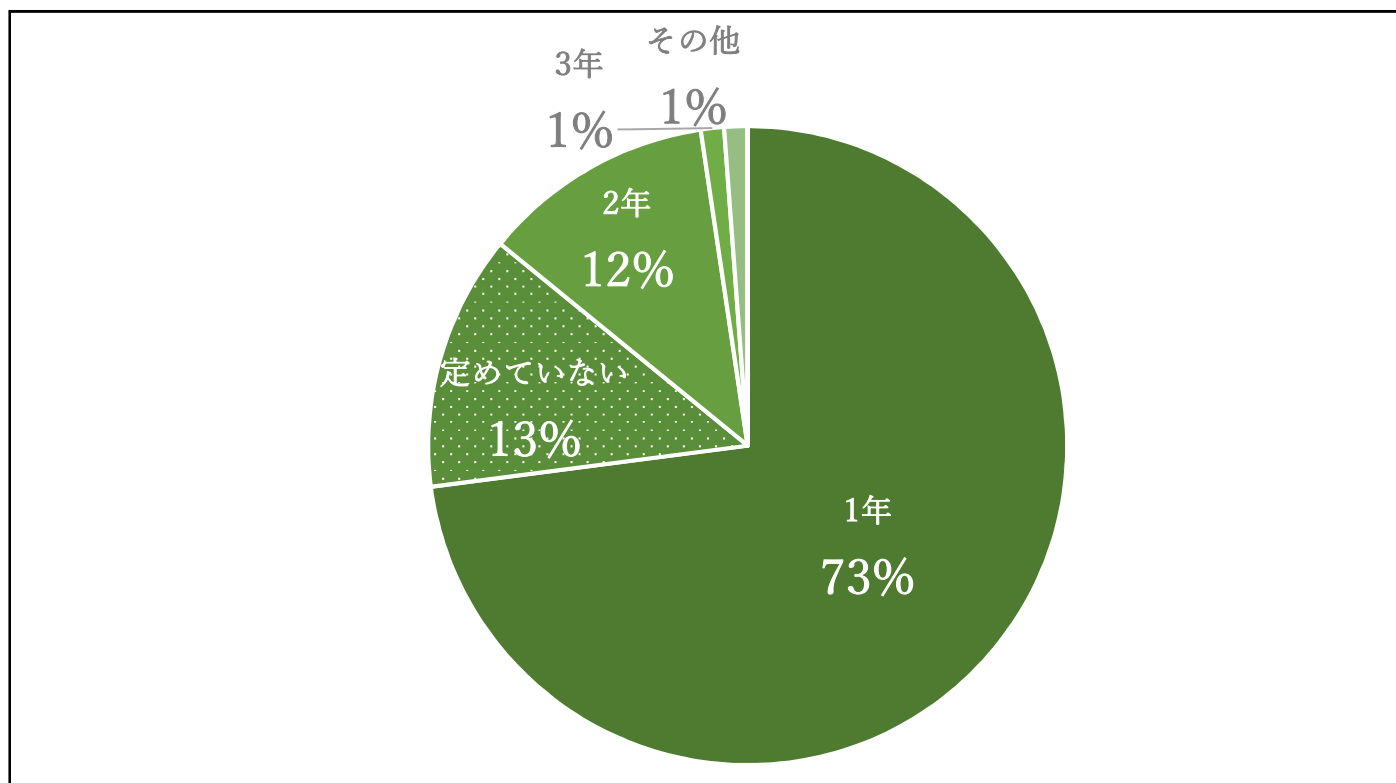


◎ 『70歳以上』と『60歳代』がともに35%で最も多く、『就業している』が74%となった。

問 3. 区・自治会長の在職年数を教えてください。

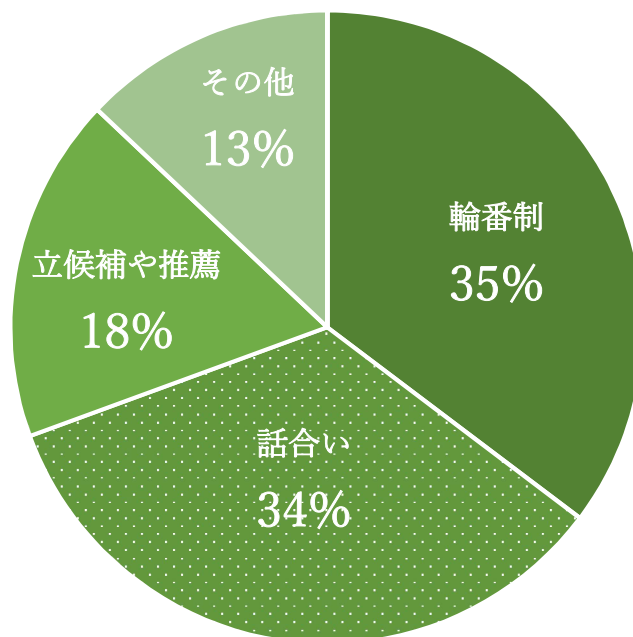


問 4. 区・自治会長の任期は何年ですか。

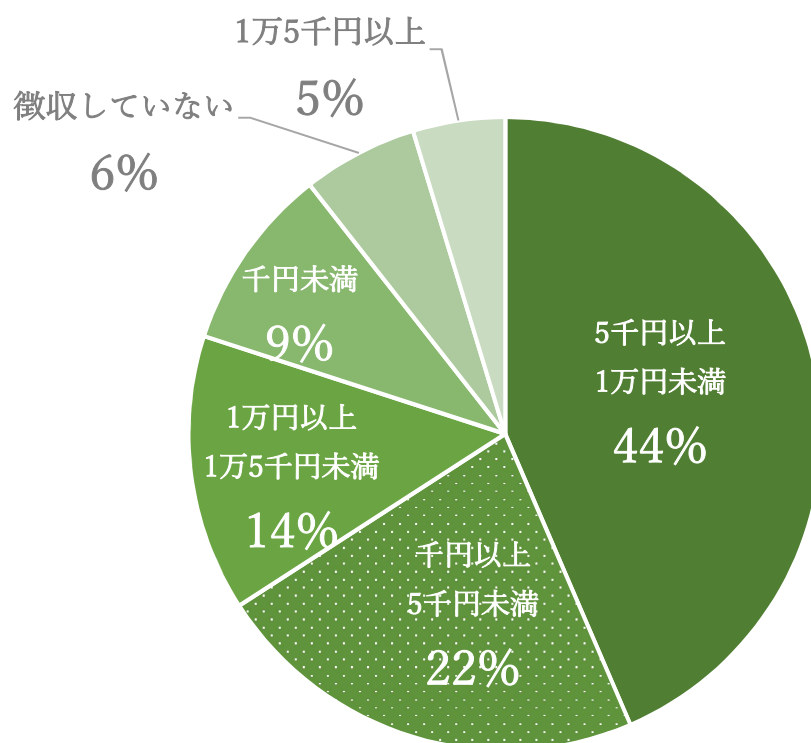


◎在職年数は『1年未満』が71%と最も多く、任期は、『1年』が73%と多くを占めている。

問 5. 区・自治会長の選出方法を教えてください。

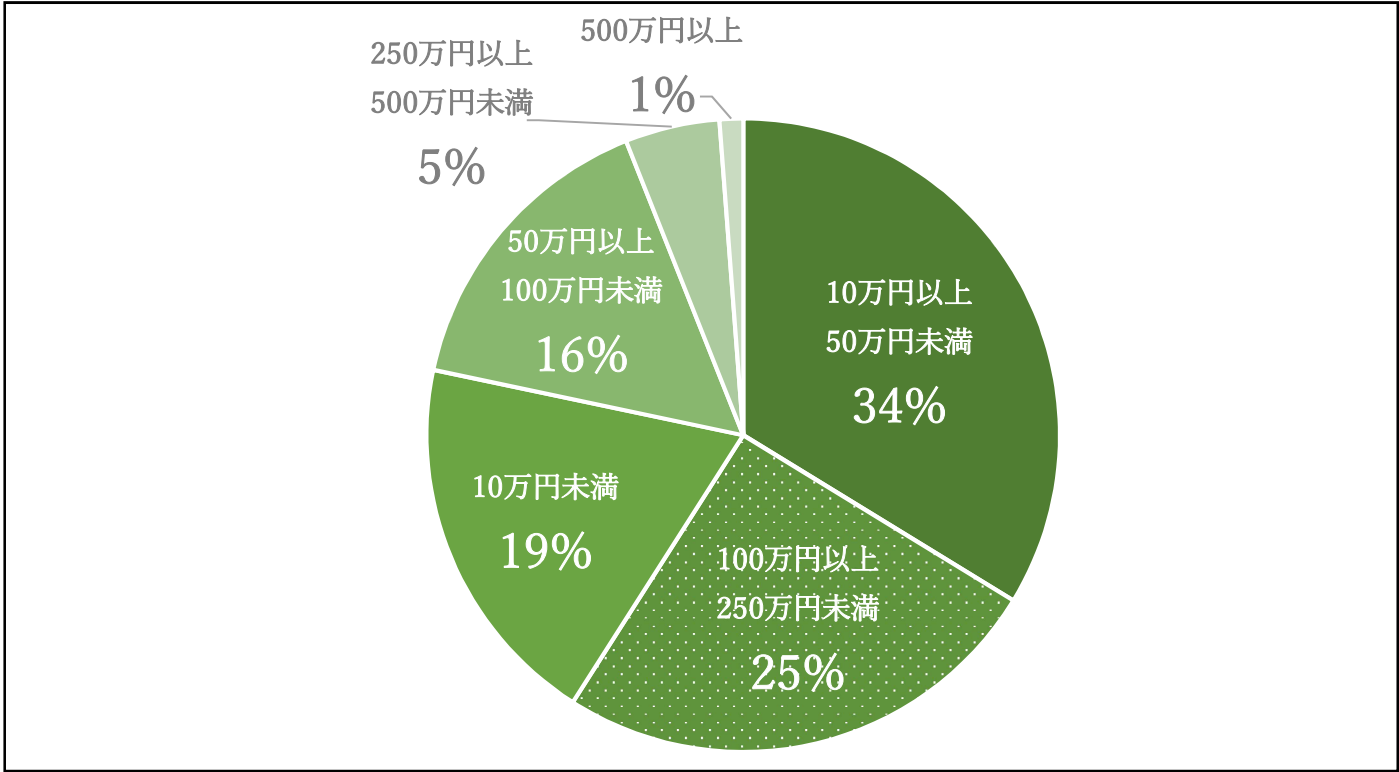


問 6. 1世帯あたりの年間の自治会費はいくらですか。



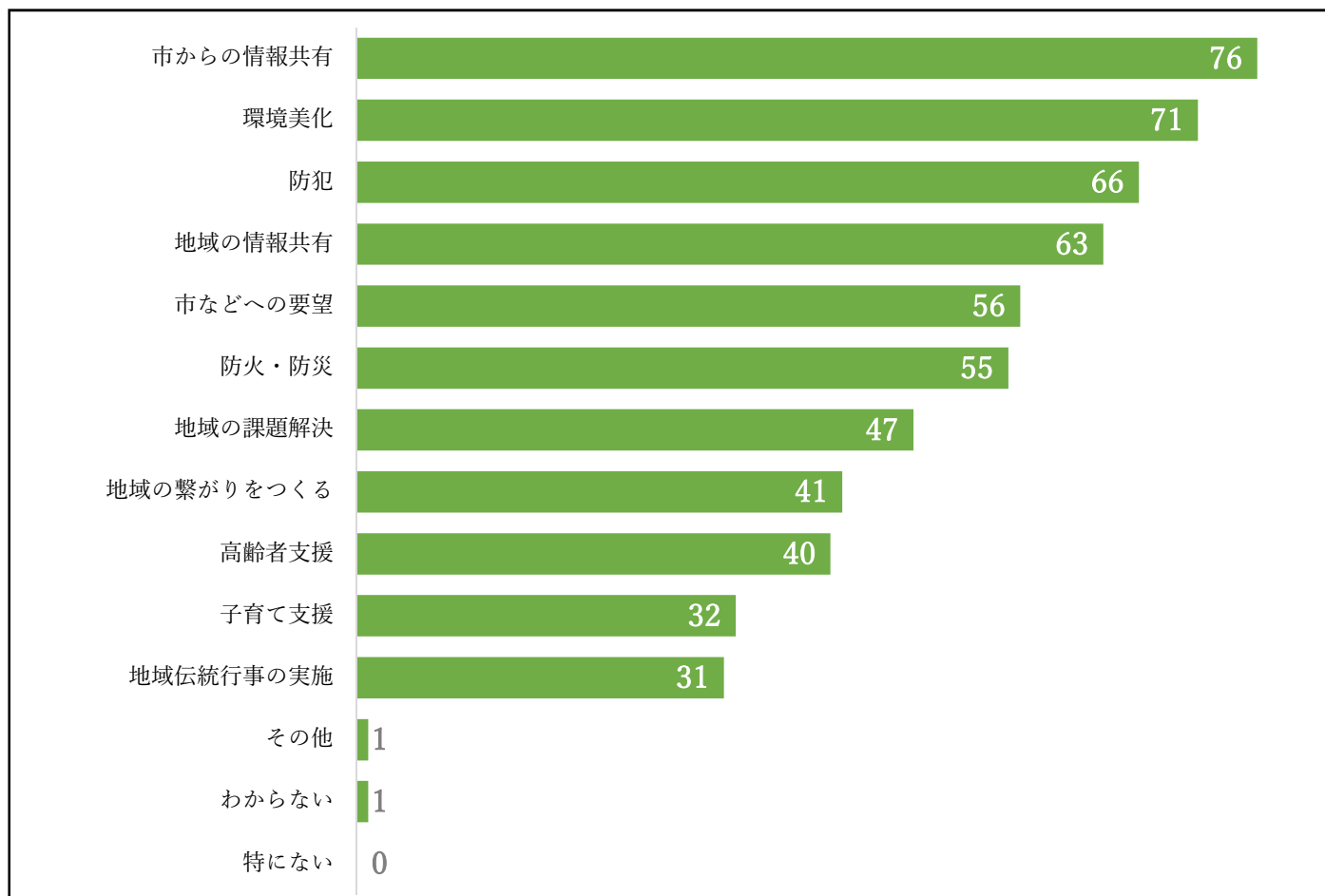
◎選出方法は『輪番制』が 35%で最も多く、次いで『話合い』が 34%となり、1 世帯あたりの自治会費は、『5 千円以上 1 万円未満』が 44%を占め、最も多かった。

問 7. 区・自治会の活動費の年間の総支出額はおおむねいくらですか。



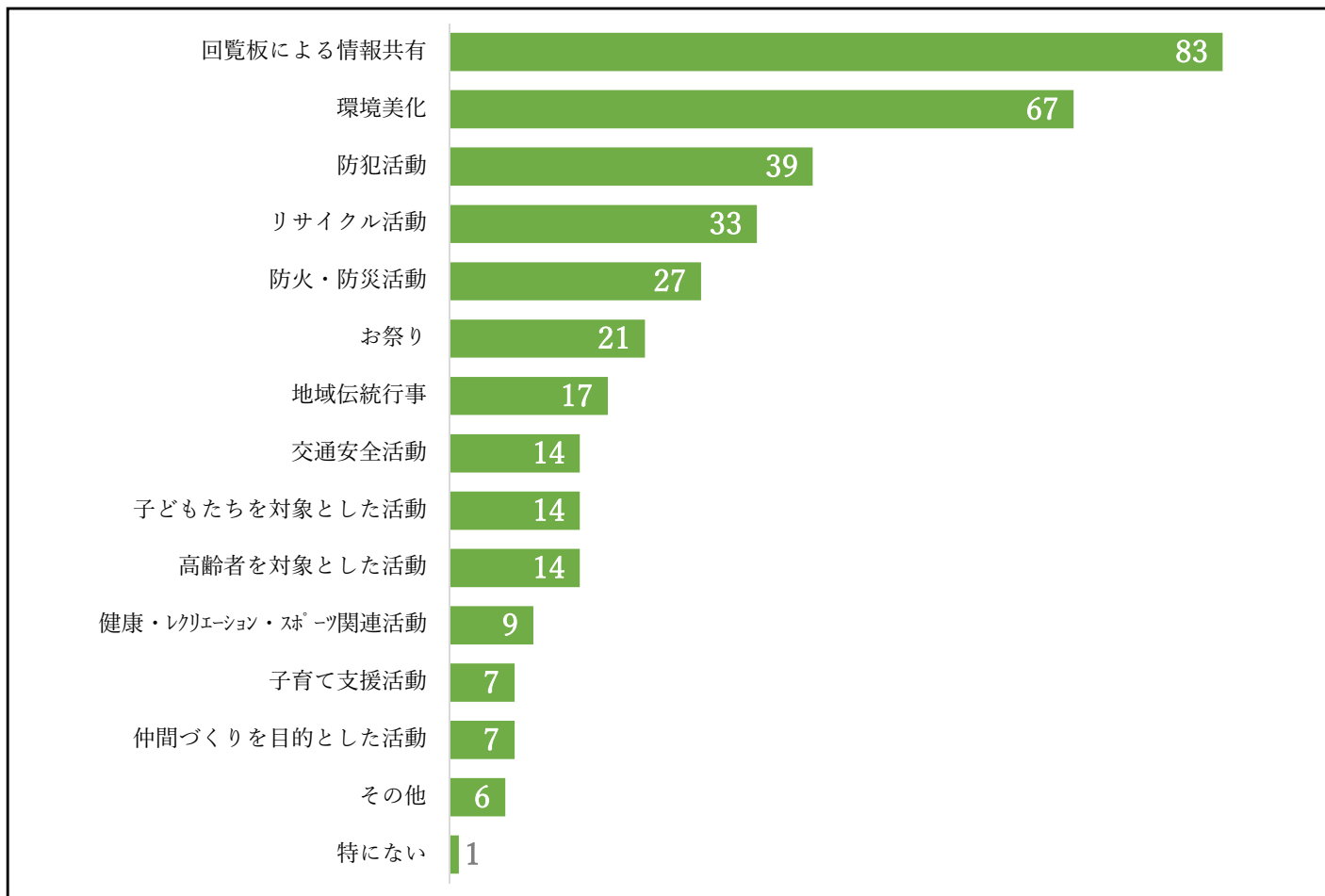
◎年間の活動費は、『10 万円以上 50 万円未満』が 34%、『100 万円以上 250 万円未満』が 25%、『10 万円未満』が 19%の順で多くなっている。

問 8. 区・自治会の役割にはどのようなものがあると考えていますか。(複数回答可)



◎区・自治会の役割として、『市からの情報の共有』が76件(89%)、『環境美化』が71件(83%)、『防犯』66件(77%)、『地域の情報共有』が63件(74%)の順で多くなった。

問 9. 現在、区・自治会として取り組んでいる活動は何ですか。（複数回答可）

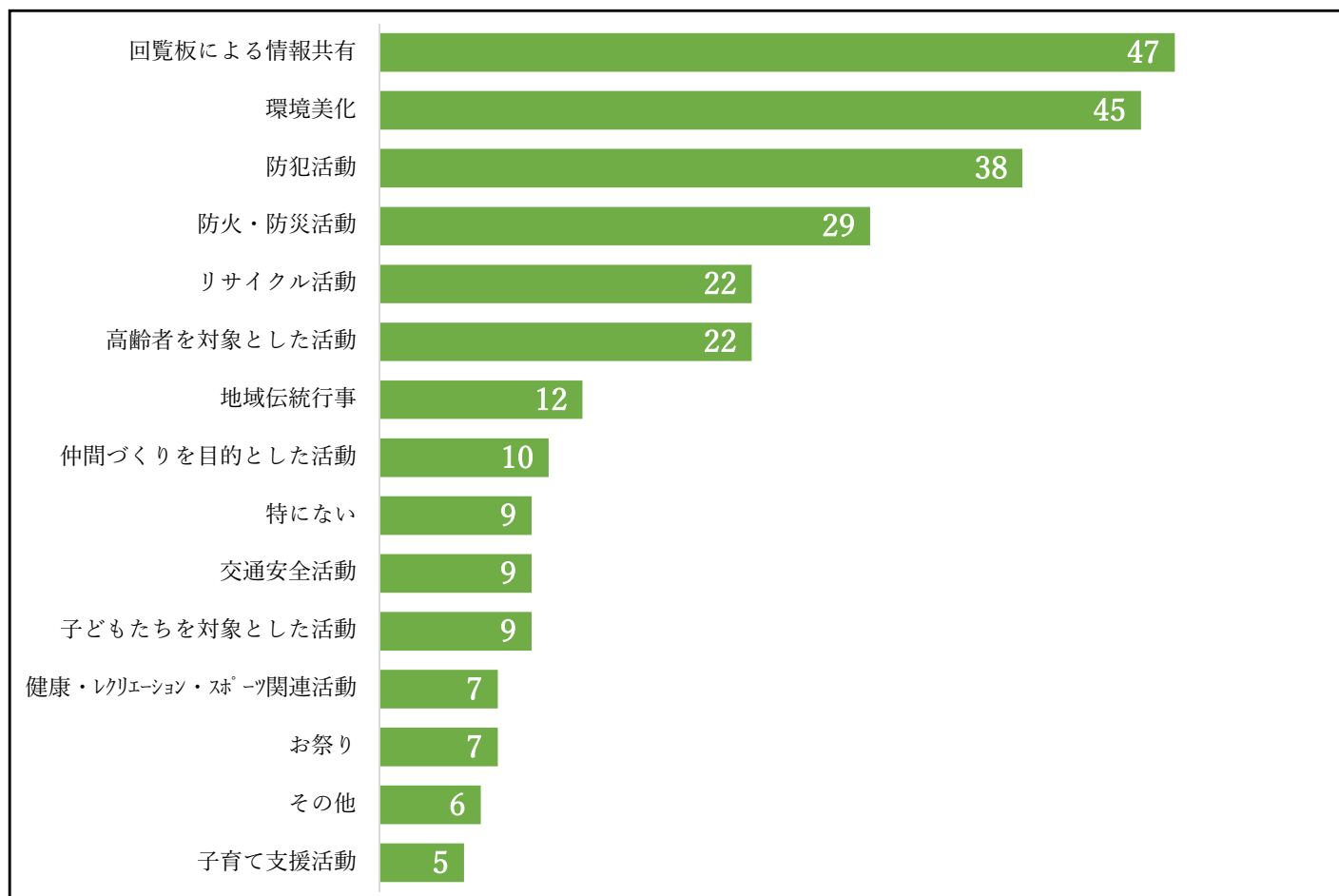


その他（※取り組んでいて効果的だと思う活動があれば具体的に教えてください。）

- ゴミ出し方が不十分な方が少数だが住まわれている。（特に自治会に入っていないアパート、間借りの方）
回覧していないので特定が難しい。掲示板で知らせているが、効果が見られない。①前日夜のうちに出して
いる②分別不十分で回収されない③ペットボトルにプラスチック混入④曜日間違い（週間違い）
- ゴミゼロと道路の草刈りが活動の中心（年 1 回）
- 台風被害で倒れた神社の倒木、枝の撤去
- 地域負担金に対する協力、募金活動に対する協力
- 1 か月に 1 回役員会を開いて、コミュニケーションをとっている。
- 災害時援助基本ファイルの作成を毎年実施。自治会員の災害、急病になった場合、家族の連絡先や服用して
いる薬などの情報があると効率的な援助や医療活動につながります。一分一秒を争う事態が発生した場合に
正確な情報を伝える。今後高齢社会になる地域はぜひ活用しては。

◎現在取り組んでいる活動は、『回覧板による情報共有』が 83 件（97%）、『環境美化』が 67 件（78%）の順で多くなっている。

問 1 0 . 今後、区・自治会として力を入れて取り組もうと考えている活動は何ですか。（複数回答可）

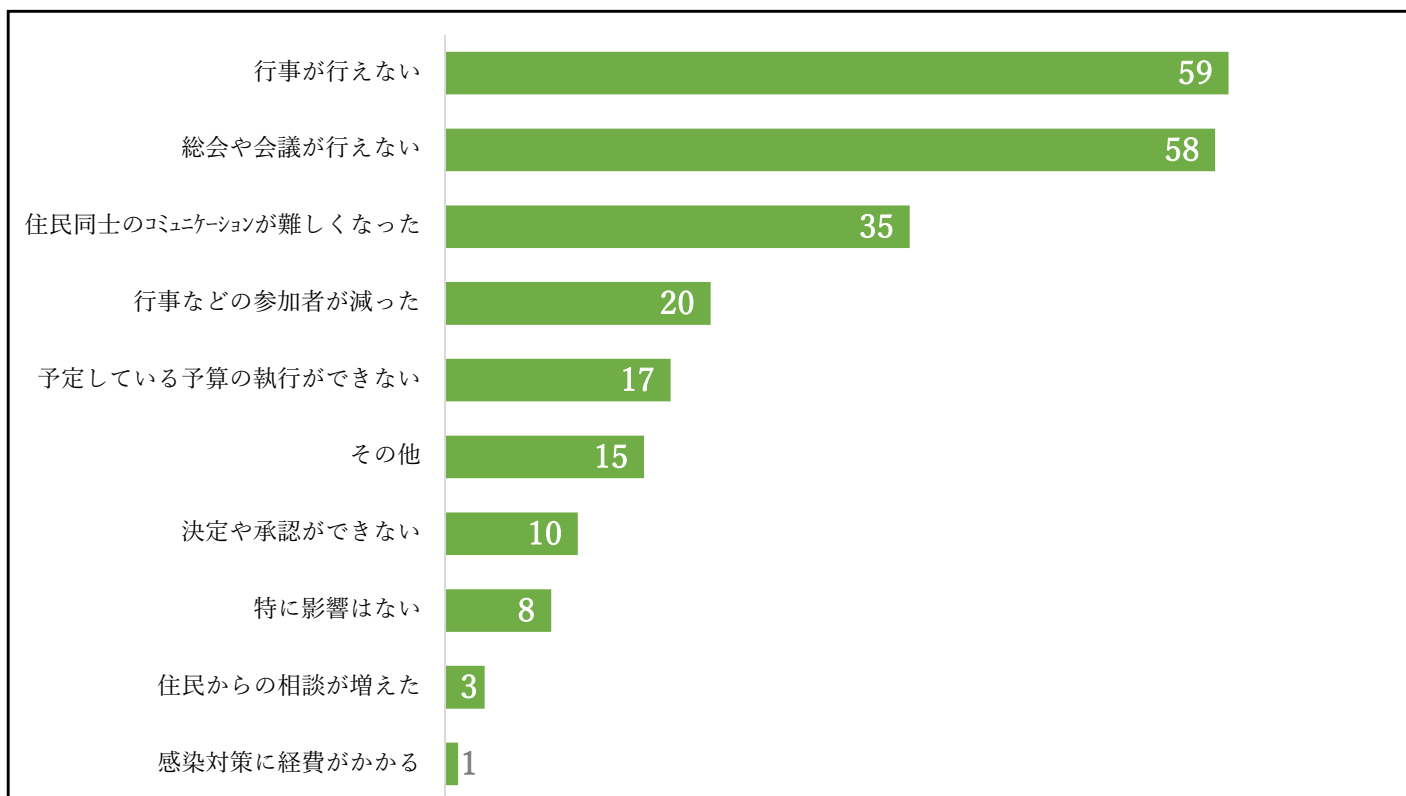


その他（※今後取り組もうとしている活動があれば具体的に教えてください。）

- 高齢者へのサポート体制づくり
- 自治会活動に対する役員後継者の育成
- 自治会所有地を子供たちの水の遊び場として整備する事業に取り組んでいる（自治会員全員が利用できるような公園として進めています。）
- 集会所に防災グッズ（発電機や乾パンなど）があるが、いざという時に活用できるように準備したい。
- 防犯カメラを設置して5年を経過していますが、台風や経年による不具合等も含めて維持管理が大変になることから新規の追加、取替工事も含めて専門の業者に任せたい。その費用や確保が難しい。
- 第3次富里市地域福祉活動計画①空き地の有効利用に取り組もう②交流機会、場所をつくろうを重点項目にあげる。今後アンケートにて対応方法等が決められる。

◎今後力を入れて取り組もうとしていることとして、『回覧板による情報共有』が47件（55%）、次いで『環境美化』45件（52%）、『防犯活動』38件（44%）の順となった。

問 1 1. コロナ禍の自治会活動でどのような影響がありますか。（複数回答可）

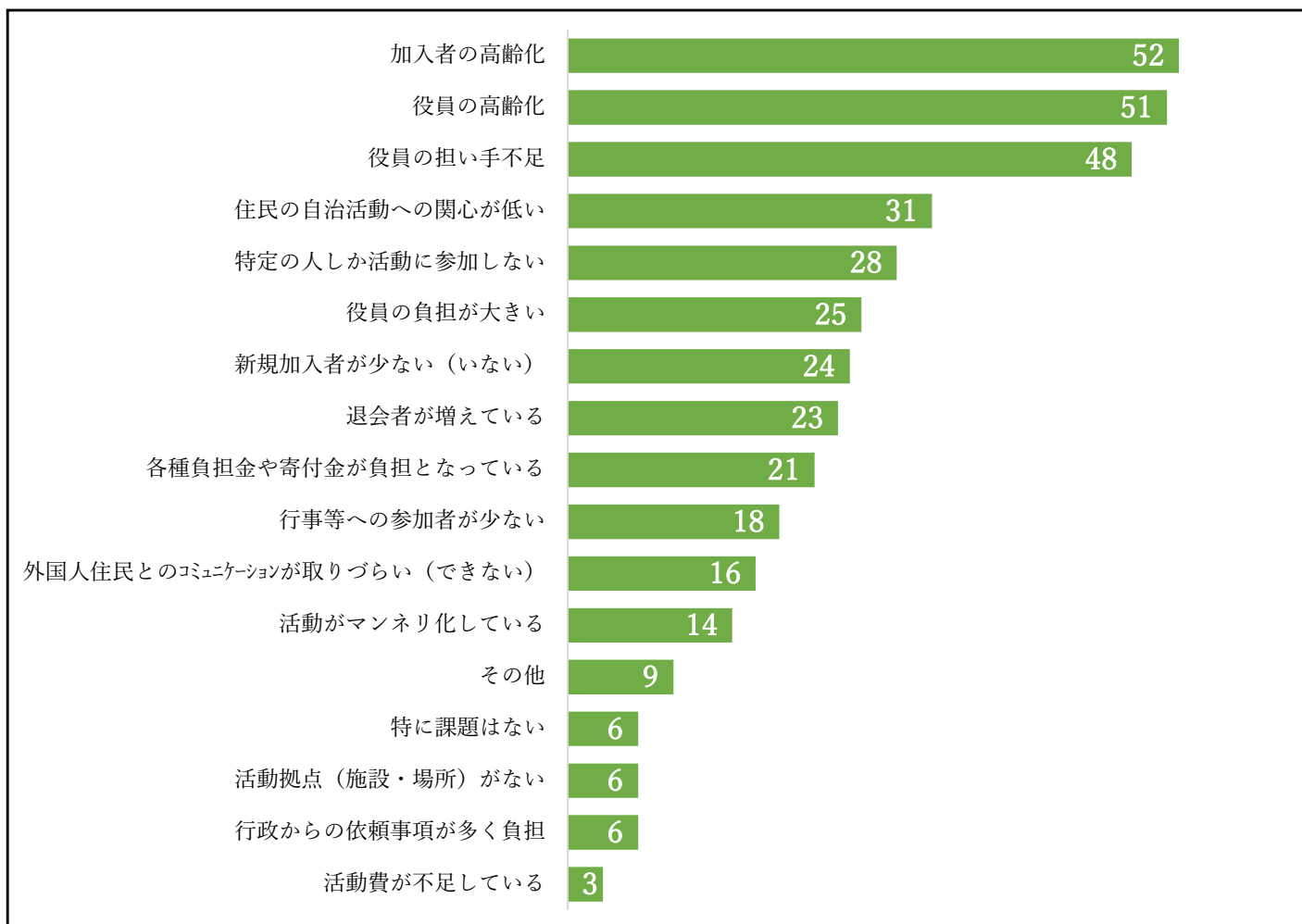


その他（※コロナ禍で従来のやり方を変更したり、特別に行った取組があれば具体的に教えてください。）

- 各戸に消毒液（アルコール系）を配布した。
- 募金活動を非対面で行ったため（回覧板に集金袋を入れた）現金の管理、募金額の把握に苦慮しております。
- 団地会員の皆さんによる除草清掃は例年やられていたが、感染リスクがあるため集められないので業者に頼んだり役員中心で少しずつ実施していくしかなかった。年度末の総会も会議室の利用となればリスクもあるので中止せざるを得ず、総会のかわりに年次報告書の形で資料配布している（もちろん事前了解を実施）
- 自治会役員のミーティングを LINE で開催している。
- 運営委員会（年 3 回～4 回）などが実施できない為、回覧時に役員に書面にて案内を行っている。
- 話し合いが出来ず書面審議で代行した。（会計報告等）ゴミゼロ、道路の草刈り等の行事が中止となり自治会長や有志による個別対応となった。
- 草刈り活動後の懇親会、忘年会を中止。
- お祭りは全体で集まり飲食が出来ないので神主に祭事を行ってもらうのみで 5～6 人で執り行う。総会などは基本、集会場の外で説明をして終了。
- 長年、神社の祭りは、春秋の 2 回行われています。約 20 名が幟立をして祝っていましたが、コロナ感染症の影響で参加できず役員 6～7 名で行っている。
- 春と秋の祭礼について獅子舞を行わず、神事のみとし、参加者も区三役、神社役員のみとした。氏子からの寄付の集金、昼食なしで実施。集会所での引継ぎを今まで通り行えず、中止や少人数での実施でコミュニケーションが難しくなった。対面の座敷はほとんど使用せずにテーブルと椅子で間隔を開けての総会・会議になっている。
- 団地内清掃は中止、委員会メンバーと有志による公園等の草刈り。総会は中止、書面による決議を実施。
- 会議を実施できない場合は、役員に文書を回覧し合議を取ることを実施している。総会はあらかじめ集会を実施できない旨の説明を実施し、委任状の集計によって議決をとることを実施しており、この方法は千葉地方法務局に確認し違法でないことを承知している。
- 昨年、今年と夏祭りを中止、総会や会議はコロナ感染予防を行いながら実施している。（緊急事態宣言中は中止）室内の行事は減らしていますが、外での行事（子供会資源回収、粗大ゴミ収集、共有施設等の整備作業）は実施している。
- 役員会の会議については必要な感染対策を取って実施しているが、総会や住民同士のコミュニケーションがほとんどできない為、中止となった行事の予算等の活用を協議中。防犯、防災、環境整備等に流用したい。

◎コロナ禍の影響として、『行事が行えない』が 59 件（69%）で最も多かった。

問 1 2. 今後活動をしていく上での課題（悩みや困りごと）は何ですか。（複数回答可）

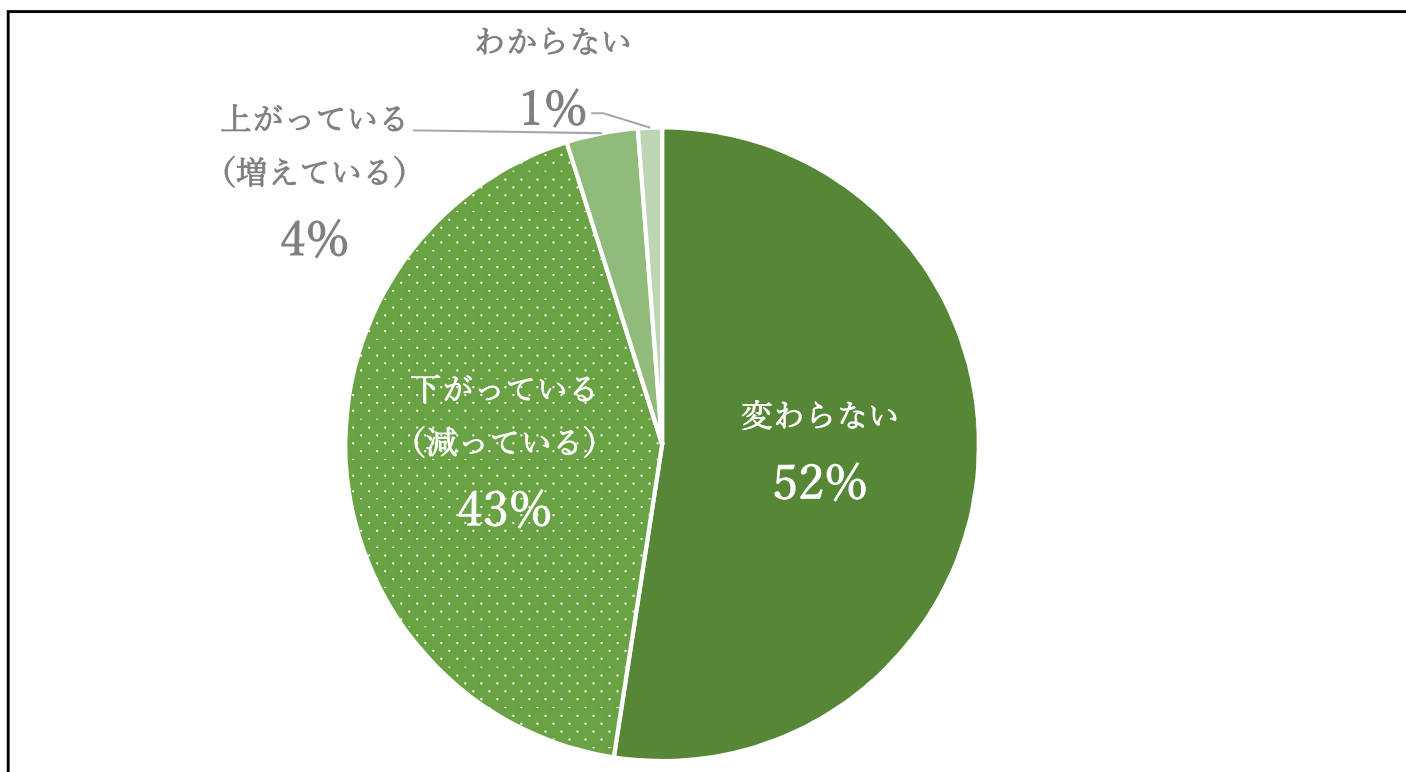


その他（※上記以外の課題（悩みや困りごと）があれば具体的に教えてください。）

- 近年の自治会加入者は特に住んでいるエリアに問題をかかえていないので、自治会への意識が薄い（無関心）又は関わりたくない様だ。自治会は本来、協力し合って住み良い環境を目指すものと思っているが、協力を求めるのが難しい。退去された家が残ったまま廃屋になると、地震風水害で地域に影響が出るのが怖い。パソコンを使える方が少なく、資料作成が出来ないので役員が出来ない理由にもなっている。
- 自治会加入者が、全世帯数の半分程度とそもそも少ない。自治会としての集会所が無く話し合い等コミュニケーションをとる場所が無い。また、近場の施設を借用するのも高齢者が多く移動が困難で集まれない（歩いて行く事が出来ない）
- 行政（市役所各課）の横連携のさらなる緊密化の必要性を感じます。
- 防犯灯の LED 化及び整備・管理を市で一括で行って頂きたい。（成田市の公募型プロポーザルを参考）
- 自治会役員の高齢化が進んでいます。各自治会住民の年代別人員構成の調査が必要だと思います。
- 高齢者世帯の増加により退会する方が年々増えている。市などの情報はネットで確認することが出来るため自治会に加入する必要性を感じていない。不便感がない。色々な理由で空き家が増えている。若い世代の方を自治会活動に参加してもらうための方策が見つからない。
- 会員が高齢化しており、子供世代の同居が少ない。新規住宅への加入者は若い人が多いのが救い。
- 活動の範囲が広く、予備知識なく輪番制なので役員を誰もやりたがらない。（ような気がする。）
- ゴミの回収で外国人による指定日以外に指定外のゴミをレジ袋等に入れて出す事が多くなっている。担当役員から相談が増えた。ゴミの外国人用の収集案内等は配布しているが、その案内もゴミとして出されていた。

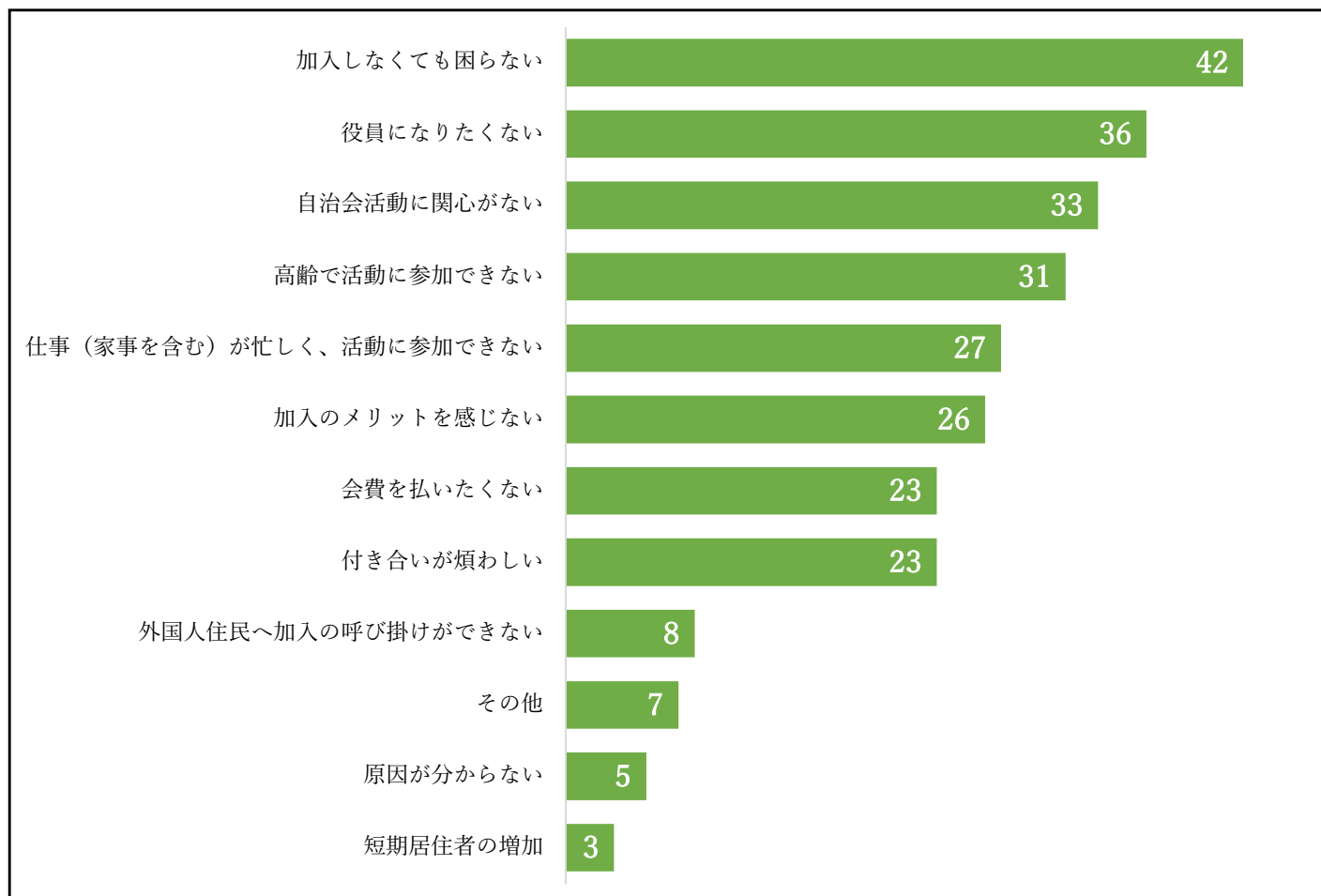
◎ 今後の課題として、『加入者の高齢化』が 52 件(61%)、『役員の高齢化』が 51 件(60%)、『役員の担い手不足』が 48 件(56%)の順で多くなっている。

問 1 3. 加入率の推移を教えてください。



◎加入率の推移は、『変わらない』が半数を超える 52%となった一方で『下がっている』は 43%となっており、『上がっている』は 4%にとどまっている。

問 1 4. 未加入の原因として考えられることは何ですか。(複数回答可)

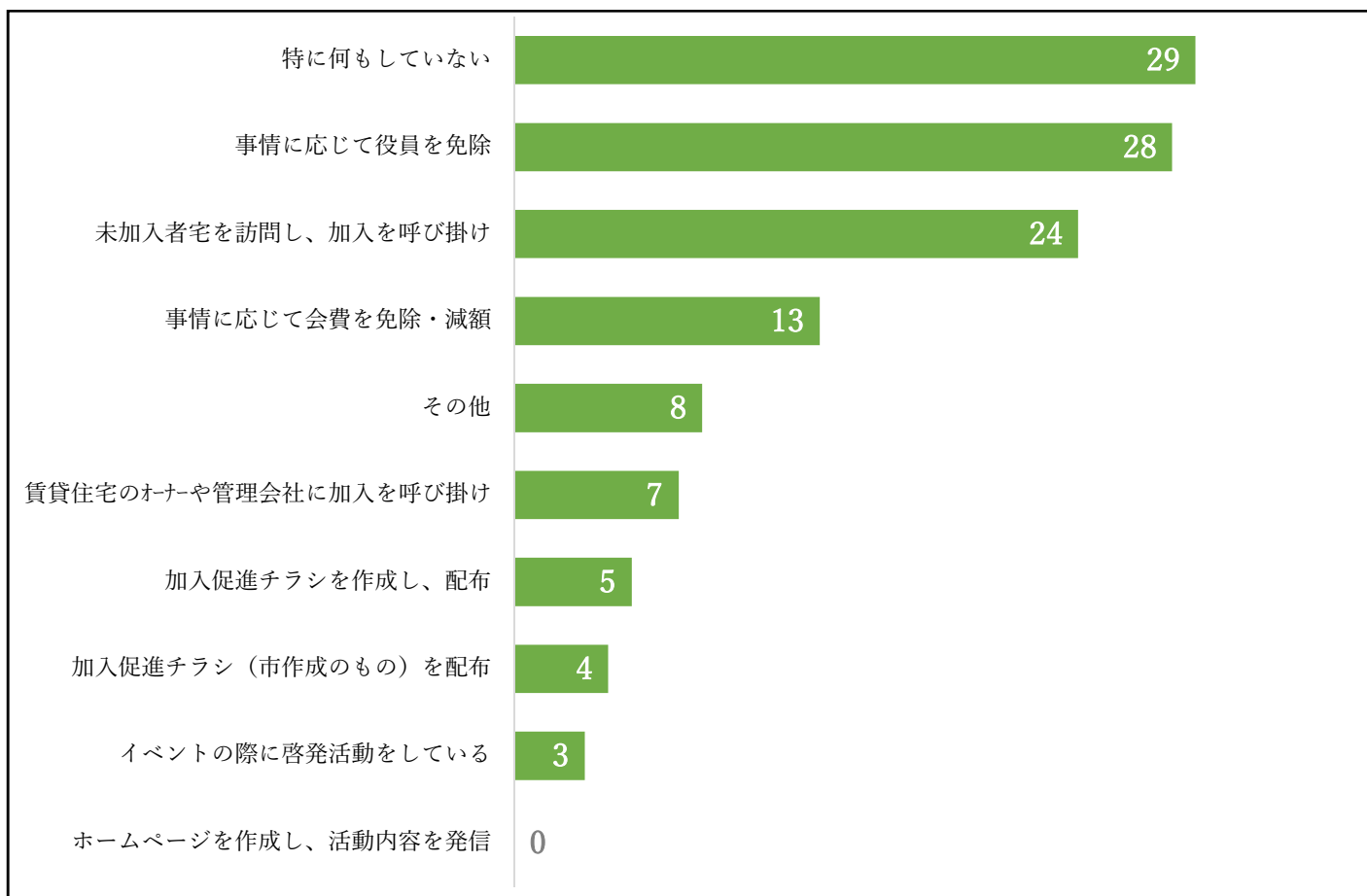


その他

- 借家、アパート、短期居住者は入会しない
- 入居者がいない為
- 貸家で期間が短いため
- 未加入者なし
- 基本的に全員参加していると思う。
- コロナによる収入減を理由にした退会者も数名いた。
- 加入しているが、基本は役員をやりたくないが多数

◎未加入の原因として『加入しなくても困らない』が 42 件(49%)、『役員になりたくない』が 36 件(42%)、『自治会活動に関心がない』 33 件 (38%) の順で多くなっている。

問 15. 加入率向上のために行っている取組を教えてください。(複数回答可)

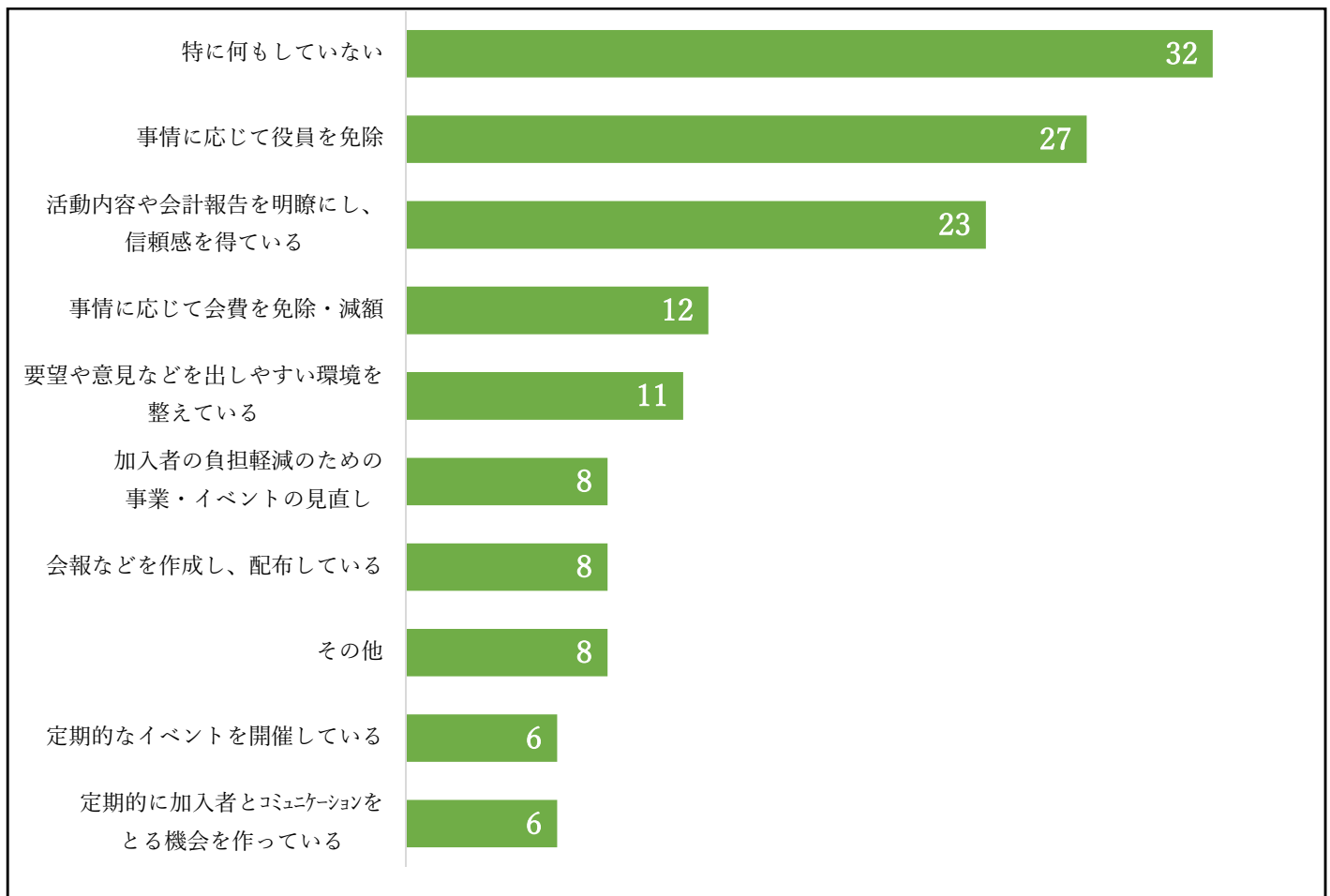


その他（※加入率向上のために、試みたり、効果があつた取組があれば具体的に教えてください。）

- 不動産仲介業者に当自治会の案内文（自治会費やゴミの出し方等）と、入会届を渡しておいて契約時に入会届に記入して提出して貰っています。（契約前に仲介事業者から自治会費等の問い合わせがあるので）
- まず、入会を勧めるため訪問は不可欠「入会のメリットは」とよく聞かれるが、私はデメリットをなくすために入会していただきたいと答えます。自治会がないと〇〇の様に環境を守れなくなる等だから協力し合っていく必要があると。だからむしろデメリット集の方があると説得しやすいですね。
- 会費を減額（12,000 円から 8,000 円）、役員の仕事を減らした（・懇親会、忘年会の中止・会費の集金を持参払いや口座振替に変更）
- 団地内で新住民がでた場合、組長から連絡をしてもらうようにしている。市の Line・メールへの登録者、ホームページの閲覧数、「広報とみさと」を手にする住民の割合がわかりませんが、これらを全く知らない方（若い方も含め）も多いように思います。これらのことを周知することもあるかと思っています。近年新聞の購読者が減っているのでも「広報とみさと」を手にする人も減少しているように感じます。
- 年配者が多い為、良い結果に結びつかない。
- 生活雑排水は集中浄化槽（自治会管理）なので転入された方へは都度説明させていただき自治会メンバーに加入してもらう事を条件としています。団地内を 5 つの班に分けてあり班長は輪番制ですが、高齢等困難な方等は免除しています。
- 加入は本人の意志であり、強制はできず仕方がないものと考えている。
- 新規入居者宅を役員が訪問し、自治会会則等を説明し手渡しして加入をしていただいている。外国人については加入していないが共有施設負担金は支払いしてもらっている。事情があり役員のできない世帯には役員を強制していない。

◎加入率向上のために行っている取組として、『特に何もしていない』が 29 件（34%）で最も多く、次いで、『事情に応じて役員を免除』が 28 件（32%）の順となった。

問 16. 退会者を減らすための取組について教えてください。(複数回答可)

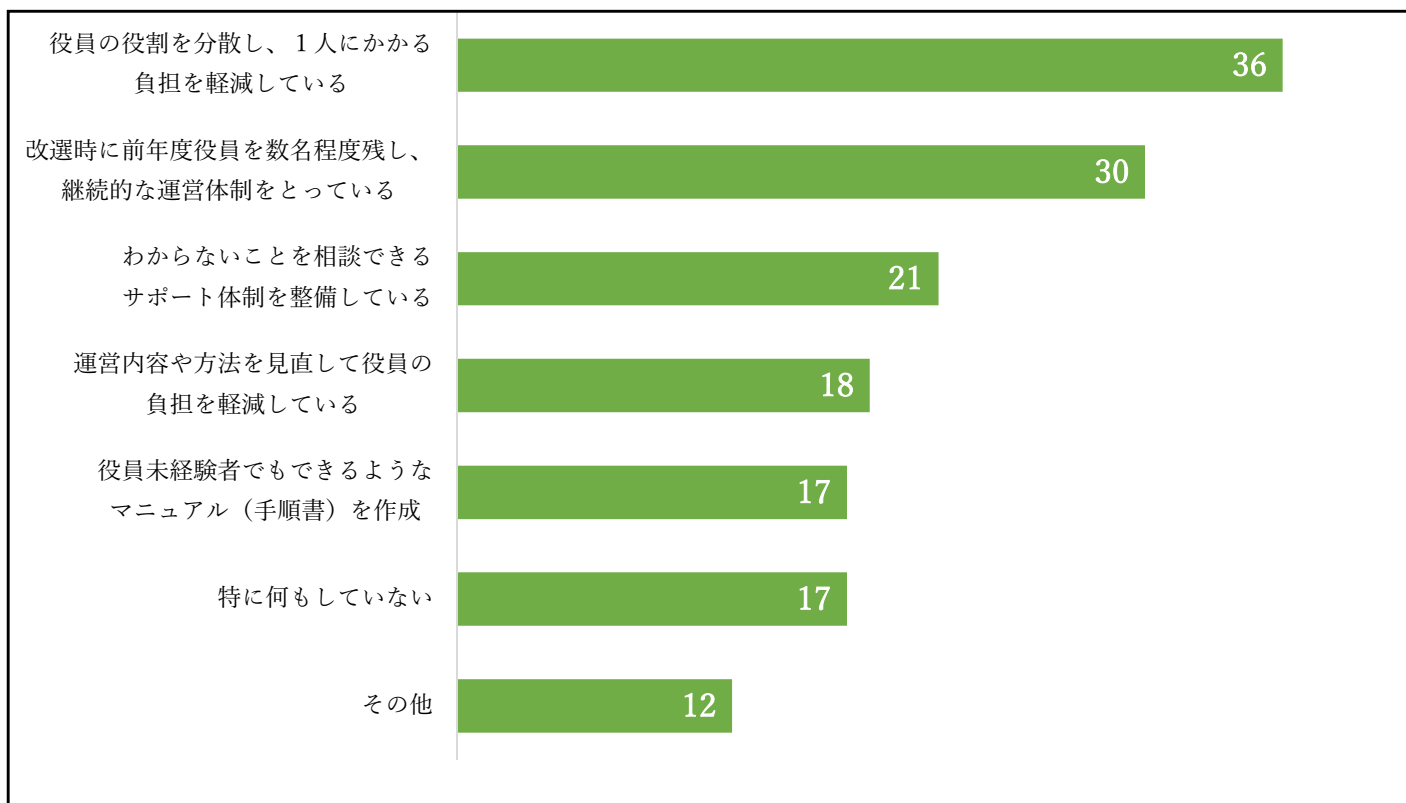


その他（※退会者を減らすために、試みたり、効果があつた取組があれば具体的に教えてください。）

- 「月次予定表」を毎月作成し、ゴミの出し方や回収日、自治会内のトピックス等を記載するので重宝されています。
- 粗大ゴミの回収を自治会で取り組むと、日常家庭ゴミで出せないで困っている人は、助かると思います。
- 会費を減額（12,000 円から 8,000 円）、役員の仕事を減らした（・懇親会、忘年会の中止・会費の集金を持参払いや口座振替に変更）
- 今年は自治会のイベントは全て中止（5 月のゴミゼロ運動のみ実施、ゴミ収集後飲料水を渡し解散とした・焼芋を役員が自治会員の玄関まで配布した・12 月は毎年もちつきを実施していたが、今年は 12/28 に全自治会員に、のしもちを配布するよう手配している）
- 年度半ばで前半を振り返り反省点、要望を各幹事に問いかけており、中間決算報告及び前半部分の活動報告をしている。
- 自治会館に月～土曜日（9:00～17:00）まで事務員が常駐し会員との対応ができるようにしている。今後については、事務員が常駐している時間は自治会館を開放したいと思っている。
- 毎年総会前の 1 月頃に各班 25 人程度の班会議を実施して各個人の意見集約を計り、次年度の役員の推薦を各班で決定して各個人の都合も合わせて出している為、不平不満は少なくなっている。しかし、高齢化に伴って人材が不足している。
- 再加入の依頼の文書を作成し、配布した。

◎退会者を減らすための取組として、『特に何もしていない』が 32 件（37%）で最も多く、『事情に応じて役員を免除』が 27 件（31%）、『活動内容や会計報告を明確にし、信頼感を得ている』が 23 件（27%）の順で多くなっている。

問 17. 役員の担い手確保のためにどのような取組を行っていますか。（複数回答可）

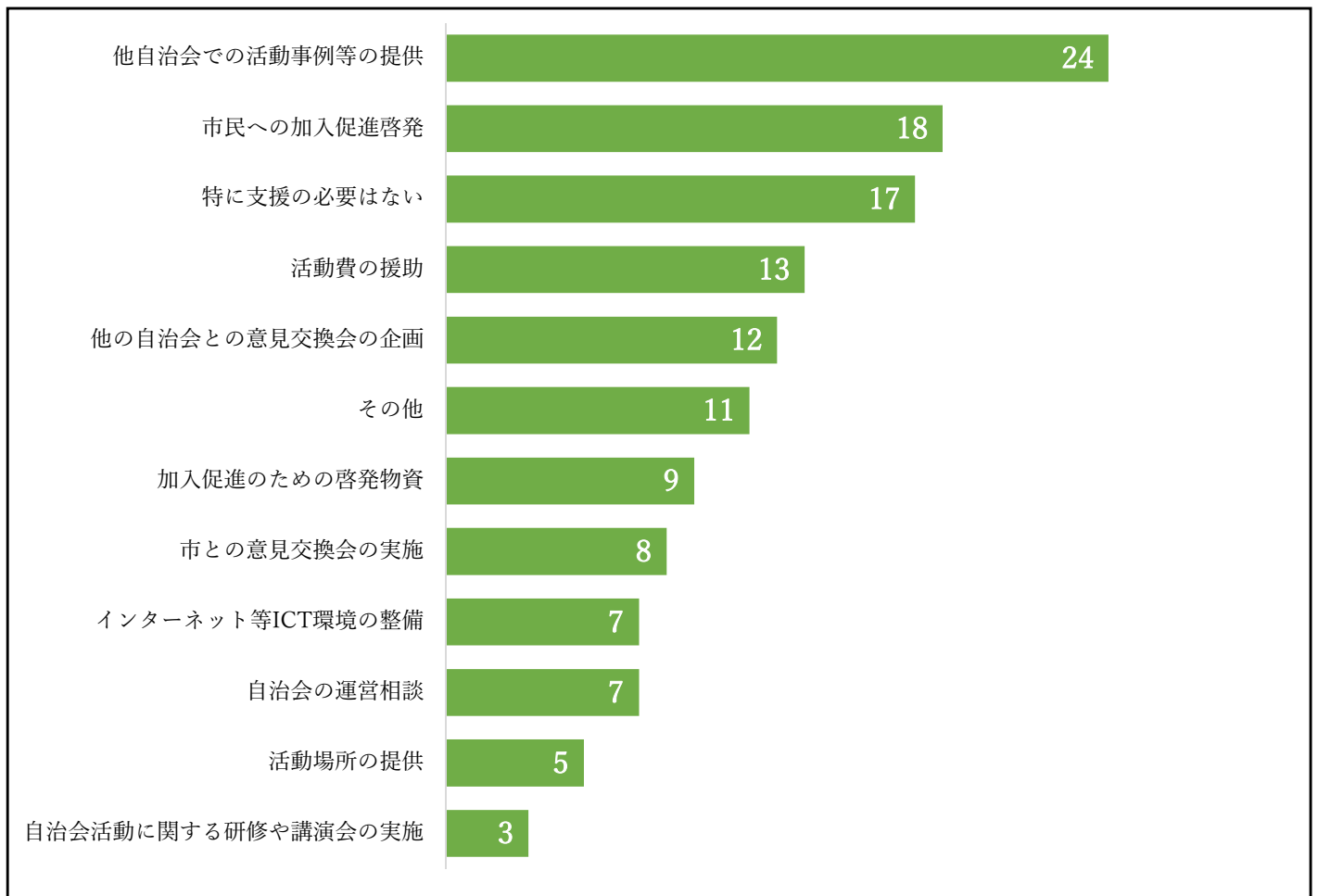


その他（※役員の担い手確保のために試みたり、効果があった取組があれば具体的に教えてください。）

- 役員経験がない人はサポートしてあげられる人がいないと尻込みしてしまうので引き継いだら梯子をはずすことが出来ない（相談役が必要かも）
- 数年先の役員予定リストを回覧して会員間で周知。問題や課題があれば役員に情報提供。
- 区長をサポートする組織を立ち上げ 5 年目に入りました。ようやく軌道に乗ってきた時、コロナで地域の繋がりが又遠くなってきた様に思う。これからの地域は、自分達自身で守っていかなければならないと思っている。
- 役員の仕事を減らした（・懇親会、忘年会の中止・会費の集金を持参払いや口座振替に変更）、役員数の削減（4 名から 2 名）
- 区の選挙で 10 名の理事を選出（任期 2 年、10 名の理事から区長・副区長・会計を選出。3 期以上理事を務めた現役の理事は次回の理事選挙を辞退することができる旨区の規約で決めている。）
- 会則によるしほりが大きいので会則改正に取り組んでいる状況です。
- 毎年度当番制で各ブロックから役員候補者を幹事から出していただいております、仕事の都合があつて行事に参加できないことも多いためリタイア組ができるだけカバーできる体制を構築中です。
- 10 年先まで役職予定を総会で決めている。
- 現在は特に何もしていないが今後何かしらの体制を取らないといけないうところ。自治会のブロック内でも役員をやりたいと毎年 Pass する人もいますのでどのような体制をとったらよいのか他の自治会さんでの事例があったら教えていただくと幸いです。
- 班長 10 名については、各班で選出している（相談にはのる）。3 役についてははなり手がいないので複数年やることが多いが、事前に話し合い推薦制をとっている。数年前から役員を減らすため事務員制度をとっている（30 名から 13 名に減らした）事務的な作業は事務員 3 名が実施している。お金はかかるが、役員の負担は大幅に減少した。
- コロナの為に行事が中止になっているが環境保全行事は中止にできない為、有料ボランティアによる草刈等を実施した。春と秋の環境保全は全て中止になりボランティア 18 名位で実施。その他は環境美化推進員が中心になり取り組んでいる。
- 常任理事の仕組みを維持している。（防犯対策委員会・防災専門部会・福祉ふれあい隊・常任理事 2 名）

◎役員の担い手確保の取組として、『役員の役割を分散し、1 人にかかる負担を軽減している』が 36 件（42%）で最も多く、次いで、『改選時に前年度役員を数名程度残す』が 30 件（35%）となった。

問 18. 区・自治会の課題解決に向けて、市からはどのような支援が必要ですか。(複数回答可)



その他

- 市道隣接の防風林の管理支援、市道の安全対策
- 自治会活動の縮小
- 公園管理を区の管理ではなく市で行ってほしい。寄付の強要はやめてほしい。
- 行政からの依頼事項を極力少なくしてほしい。
- 集中浄化槽の維持管理
- 消防団維持費の負担額が1世帯2,100円余りと非常に高く自治会費の大きな負担になっている。
市からの消防団への補助金の増額をしていただければ助かります。
- インフラの整備、特に道路・下水道
- 意見交換会は同地区ではなく他地区を希望します。
- 集会所にWiFiをつなげてほしい。リモートで繋がれるようにしたい。
- 過去には自治会連絡協議会に新興住宅の住民による協議会で問題解決の方法等を話した。

◎市からの必要な支援として、『他自治会での活動事例等の提供』が24件(28%)、『市民への加入促進啓発』が18件(21%)、『特に支援の必要はない』が17件(20%)の順で多くなった。

問 19. このアンケートは、情報共有や今後の区・自治会活動の参考としていただくことを目的としていますので、区・自治会活動を行う上で、参考となりそうな取組や日頃感じること、提案などがあれば自由に記入してください。

- 他の自治会の取組み状況が全くわからない。区長会の意見交換会も期待していたが中止となり残念。区長会へのアンケート（このアンケートとは別にもっと具体的なもの）を実施して取りまとめ結果を広報して欲しい。（例えば、・駐車場料金未払い者への対応・不法駐車対応・空地の立木の枝伐採対応・自治会費未払者への対応）、区長会議、まちづくり協議会の出席者（多くは区長会）が少ない。意見交換の場として不十分。
- 町内にアパートやマンションを建て入居させる際、地元自治会への加入呼びかけを行って欲しい。特に防犯灯費の負担について自治会に加入しない場合、せめて地元自治会の防犯灯費について理解をしてもらうよう行政から強く業者に指導して欲しい。町内になんのあいさつもなくマンションやアパートが建ち自治会が管理している防犯灯の事を知らない業者が多いのでは。（市がやっていると思っている。）
- 当自治会は、子供会育成会、PTA 地区理事を組織の一つとして取り込んでいるので、行事や活動をバラバラに行う弊害が無く、一体として運営しているので、それぞれの役員になった方々の負担軽減になっており、役員決めに苦労していません。
- 事務局に有償で配置しています。
- 富里市の区長会を成立させるために各地区の役員選出等で苦しんでいる背景があること、各行事で参加しなくても何となく流れていること、行政から各地域に協力依頼をする為に存在している様に思えてならないこと。少々むなしい感じです。
- 市として学校圏を中心として自治会連合組織を育成強化するべき。
- 高齢化が進み、何かあった時の連絡方法や連絡先が個人情報の件でなかなか聞き出しづらい。緊急時には、市等行政機関が対応して欲しい。
- 問 18 であった様に地域は違えども悩み事は大体同じ事柄が多いと思う。是非先進的に取組んでいる自治会さんにレクチャーを受けたい。コロナ禍ではありますが、情報共有宜しくお願いします。
- 高齢化と少子化が顕著となっており、何か新たな取組、コミュニケーションの場を作ろうとしても最大のネックと考えている。団地ができた当時の加入者が多く、デイケアに通う様なお年寄りが増え、活動をお願い出来る様な状況でない。新たに引越してきた人も自治会に加入してくれる人は少ない。また、独身の方が多く、当自治会には小学生も現在おらず子供達を中心とする様な活動もできない。古い団地には子供達のいるような若い世帯が引越してこない傾向が強いと思われる。古い団地と最近できた新しい団地を融合する様な自治会自体の区割りの見直しを市の方で検討して頂くのも一つの手段と思う。
- 負担の多い活動の見直し（縮小、廃止）、会費徴収要領の合理化（役員による集金をやめ、持参払いや口座自動引き落としに変更）、班の再編成（班の数の削減）による役員数の削減
- 総会を 1 月中旬に毎年開いています。昨年に市長さんに直接お越しいただき区民の要望等を聞いていただきました。できれば来年の 1 月の総会（期日未定）にご出席願えれば有難いです。
- 自治会活動への理解や参加（入会）を促進する市全体での取組みをさらに進めることが必要に思います。
- 高齢化：各自治会の高齢化の状況を把握したい。2025 年団塊世代がすべて 75 歳以上の後期高齢者となる。今後の自治会活動の転換期になると考えている。
- 当地区も急速に高齢化が進み、独居、介護世帯や空き家が増え自然と自治会を退会する世帯が増しております。数年後には自治会加入世帯が全体の半分以上になるでしょう。そうすると今までのような活動や運営は出来なくなります。これを見越して今から自治会のあり方を話し合う必要にかられています。例として、現在の自治会を解散して、原点にもどり全世帯が参加するかたちにする。組織体制を見直し、規約改訂をする。会員の負担軽減のため、本当に必要な活動だけを行う。①防犯対策②防災対策③社会福祉④環境美化（ごみ問題）などに限定する。これらを含め自治会のあり方を見直しが急務と思われます。

- 自治会地域内の道路整備、生活環境整備、改善に御協力、御支援ください。もっと若い世代が生活しやすく、富里市内の仕事を増やす。労働力の確保の環境を増やす様市に要請致します。
- 本年度会長を初めて努めていますが、コロナで従来に比べて少ないとはいえ思いのほか会長という名で負担が大きいことを今更ながら知りました。負担金、寄付金の支払い、補助金申請のものがいないか前任者がファイルで大まかに仕事内容を残してくれているが各補助金申請に関してはこれからのもの必要書類や時期とかあいまいで不安がある。又、役員選出では全世帯高齢化していて役員辞退者も出て来て今後が不安。動ける人は仕事をしているので大変。パソコンができなかったり…市役所で文書作成してくれる部署があれば助かる。大まかなマニュアルがあれば流れがわかっていればもう少し安心して努められると思う。未経験者には心身ともに疲れる。
- 役員交替、任期満了時新役員を担っていただける方が減ってきている。区ごとに自治会活動の内容、区で抱えている問題等が異なっており一律な支援ではなく、区ごとに問題・支援が必要な内容をヒアリングして自治体と区（区民）と一緒に活動・取組みを行っていく様にしたいと思っています。
- 団地内には公園が2か所あります。子供達が遊んだり公園の一角に集会所があるので草刈りは欠かせません。毎年団地内清掃に参加する方が少なくなりとても大変です。5月～10月の間に自治会としても団地内清掃は今後も実施する予定ですが、市としても2回位草刈りを担っていただくことを要望します。集中浄化槽利用料を督促しても支払わない人がいます。大きな設備であり、とても大きな金額のかかる設備をメンテナンス業者に管理はして頂いておりますが、素人の自治会役員で管理をしています。もう少し良いやり方があるのではないのでしょうか。例えば上水道料金はジェネッツが管理していますから上水道利用量に対しての下水道料金であるべきなので下水道利用料を管理していただく事はできないものなのかと。
- 区長会は実施されたものの他の行事は皆無であったように思います。各学区毎にでも分けた範囲での区長単位での情報の回覧等は意味があるのではと思います。
- 通り抜け車両の規制
- 自治会長は区長を兼ねるので学区区長会の役員にもなるため副会長が活動しやすくなるよう話し合いをしている。普段は自治会館にいる事務員がすべて対応できるように毎週打合せを行い、緊急時等の連絡体制を整えている。お金はかかるが、役員の負担は大幅に減少している。自治会三役と事務員は週2回打合せを行い、自治会活動をスムーズに運営できるようにしている。
- Internet、ZOOM、IT化をみんなですすめられたら良いと思います。集まらなくても会議できるし、印刷をしなくても情報共有できるし、良い事多いと考えます。まずは、集会所の公共WiFi提供からできればいいな～と思います。
- 公園整備負担が大きい。秋の落葉集めに良い方法は？
- コロナがまだまだの状況ですが、区長会として今回のこの意見集約等を参考に各自治会等で参考になる事もありますので活用してほしい。当自治会には防災無線がありませんが、20年以上前から個別のアナログ防災無線が各班長に配布された事がありました。私の提案で集会所に個別アナログ防災無線をアンプ、スピーカーを通して団地内に放送できるように設置して、団地内防災無線として活用しています。※自治会の独自の案内にも活用中。アンプスピーカー等を含めて50～60万円程度です。